

視察報告



三島市が抱えるさまざまな課題を調査するため、委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

先進地に学ぶ

議会運営委員会 8/19～20

議会基本条例の検証、議会改革及び市民参加の取組

—愛知県犬山市—

議員の意識向上やレベルの高い議論を行うことを目的に、議員間討議、正副議長の立候補制、市民との意見交換の実施、情報公開・情報発信の促進などを行っている。

平成23年10月に犬山市議会基本条例を制定し、平成29年には議会基本条例の検証と同時に、市民が直接議会に声を届ける市民フリースピーチ制度を導入した。令和元年以降もタブレット端末の導入、通年議会、政治倫理条例の制定、ハラスメント防止等にも取り組んできている。併せて、これまでの取組の検証・見直しを行い、市民フリースピーチは高校生との意見交換や女性議会、親子議場見学会の実施などへ見直しを図った。

議会改革、議会活性化の取組

—三重県いなべ市—



議会が取り組むべきものを重要度、緊急度の観点からマトリックス図で可視化し、いなべ市議会行動計画を制定した。次に、議会基本条例の検証方法として成熟度評価モデルを用い、16の確認項目に基づき行動計画を自己評価している。また、全国で二番目となる地方議会成熟度評価モデルの第三者評価も実施している。さらに、事業評価からの政策サイクルにつなげるため、事業評価の後、議会での意思決定を行い、執行機関に提出している。議案審議強化のため議案勉強会や、議会終了後の全員懇談会振り返りも実施している。加えて、議案に対する市民意見の聴取や情報発信などを行い、市民参加の取組も進めている。

経済建設委員会 7/22～24

福山駅前再生ビジョン

—広島県福山市—

車中心から人中心のまちづくりへ転換するため、市民参加を重視し、産官学金が連携。リノベーションスクールでは新事業創出と地価12%上昇という成果を生み出した。また、旧商業施設を公共機能を持つ複合施設へ再生して回遊性を高め、中央公園には中四国初のPark-PFIを導入。図書館と連携したにぎわいを創出している。これらのプロジェクトを通じ、多様な世代にとって暮らしやすいエリアへの再生を目指している。

空き家対策

—滋賀県東近江市—

空き家バンクの運営を専門家が参画する一般社団法人へ移管し、透明性と対応力を強化。所有者の多くが「何をすべきかわからない」との実情から、ワンストップ相談窓口を開設している。県の補助金も活用し、特定空家の除去や改修に対する手厚い補助制度を設けており、空き家バンクは移住推進に貢献する一方、現場からは所有者の責任意識の希薄化が深刻で、公費による対策には限界があるとの厳しい見方もあった。

バイオマス資源の利活用

—愛知県豊橋市—

PFI方式(BTO)による「バイオマス資源利活用事業」を実施している。中島処理場に国内最大規模の施設を整備し、下水汚泥、し尿、市民が分別した生ごみなどを集約。これらをメタン発酵させてバイオガスで発電し、発酵後の汚泥も炭化燃料に加工することで、バイオマスを100%エネルギー化している。

福祉教育委員会 8/4～6

柳ヶ瀬子育て支援施設ツナグテ

—岐阜県岐阜市—

「ツナグテ」は、子育て支援とにぎわい創出を目的に令和5年に開設された。来館者数は月平均1.4万人超だが、周辺への波及効果が限定的などの課題がある。令和8年度からの指定管理者制度導入で、民間ノウハウによる魅力向上や地域連携強化、運営効率化が期待されている。

ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

—大阪府枚方市—

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターは、15～39歳の若者を対象に相談・居場所づくり・家族の会を柱として支援している。こども家庭センターとの連携や子ども・若者支援地域協議会における情報共有により、切れ目のない支援体制を構築している。

小中学校体育館への空調設備導入

—京都府八幡市—

令和元年度から、毎年2校程度の小中学校体育館に空調を設置している。当初エアコンとファンの方式であったが、騒音や効率の観点からエアコンと輻射式パネルの方式へ変更し、床面付近を静かに効率よく冷やすとともに、ランニングコスト削減を図っている。また、災害対応でLPガスを採用している。

結婚支援事業

—愛知県小牧市—

小牧市は令和5年に「出会い結婚支援室」を新設。婚活イベント・結婚相談・ライフデザイン教育を民間業者に一括委託し、行政主導で出会いから相談までを支援している。イベントと相談を有機的に連携させ、オンライン相談や高校生向けセミナーも実施している。

総務委員会 7/22～24

新庁舎の整備

—福島県会津若松市—

歴史的建造物である旧館を一部保存しつつ、地上7階建ての新庁舎と一体化し免震化を行った。設計段階から施工予定者が参画するECI方式を導入することで、コスト抑制と品質確保の両立が図られていた。

AI案内システムの試験導入、マイナンバー連携による窓口簡素化など、デジタル技術を積極的に活用していた。多目的スペースや防災拠点化など、地域連携を強化しまちづくりの拠点を市民と作り上げていく姿勢は参考になった。



新庁舎の整備

—栃木県鹿沼市—

東日本大震災を機に新庁舎整備事業を開始、令和2年2月からの1期工事、令和3年9月からの2期工事を経て令和5年5月に新庁舎が開庁した。「市民、文化、歴史を未来につなぐまちづくりの拠点」をコンセプトに、防災拠点としての機能を備え、ライフサイクルコストの削減を追求しながらも、地域資源を活用し「木のまち鹿沼」をアピールした庁舎となっている。

DX戦略計画、行政DXの取り組み

—栃木県真岡市—

デジタル技術の活用によりアナログの価値を高め、真岡市の魅力を最大化させるため、令和4年3月にDX戦略計画を策定した。来させない・待たせない・書かせない市役所の実現のため、本人確認証を活用した「かんたん窓口システム」を導入している。また、DX人材育成基本方針に基づく市職員の研修プログラムを実施し、DX推進リーダー100名の育成を目指している。

議会だより
編集委員会

委員長：沈 久美
副委員長：本間 雄次郎
委員：高田 康子
宮下 知朗
村田 耕一
河野 月江
甲斐 幸博

議会だより令和7年 8月1日号掲載内容 の訂正について

P-7 予算決算委員会について
誤りがありましたので、お詫び
して訂正いたします。

誤：副委員長 甲斐 幸博
正：副委員長 土屋 利絵

なお、ホームページ上に掲載さ
れているデータは修正済みです。

11月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 (議案審議)			
30	12/1	2	3	4	5	6
					本会議 (一般質問)	
7	8	9	10	11	12	13
		本会議 (一般質問)		本会議 (一般質問予備日)		
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 (議案審議)					

本会議は午後1時に開会する予定です。日程は変更になる場合があります。

議会の活動

7月 8日 議会報告会運営会議
11日 静岡県市町議会議員研修会
15日 議会運営委員会
各派代表者会議
22～24日 総務委員会行政視察
経済建設委員会行政視察
31日 東部地区6市4町議会議長連絡会
8月 4～6日 福祉教育委員会行政視察
7日 議会報告会運営会議
13日 議会運営委員会
15日 平和都市推進事業街頭啓発事業
19・20日 議会運営委員会行政視察

25日 議会運営委員会
各派代表者会議
26日 議会報告会運営会議
29日 各派代表者会議
議会運営委員会

9月 2日 議会報告会運営会議
5日～10月2日 9月定例会
5日 各派代表者会議
本会議(議案審議)
予算決算委員会
議会だより編集委員会

10・11日 経済建設分科会(決算審査)
12・16日 福祉教育分科会(決算審査)
17・18日 総務分科会(決算審査)
24・25・26・29日・30日
本会議(一般質問)
25日 各派代表者会議
議会運営委員会
30日 予算決算委員会

10月 2日 本会議(議案審議)
3日 議会だより編集委員会
議会報告会運営会議